

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2019 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No.	タイトル	自治体名
	8_1/3_1	多摩ニュータウンに 40km 以上広がる遊歩道網と豊富な公園がある住環境の魅力を市外の人に体感してもらうには	東京都 多摩市
アイデア名 (注2) (公開)	多摩市の街並み共有プロジェクト ～Google ストリートビューを活用した遊歩道・公園の丸見え化～		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2019 サイトの中に記載してあるエントリー自治体 (連合) が掲げる地域課題を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームが応募されるアイデアにつけるものです。アイデアにふさわしい名前を付けてください。

### 1. 応募者情報

チーム名 (公開)	多摩市若者会議	
チーム属性 (公開)	<input type="radio"/> 1. 市民によるチーム <input type="radio"/> 2. 学生によるチーム <input checked="" type="radio"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム	
メンバー数 (公開)	12 名	
代表者情報	相田 雅貴	
メンバー情報	氏名 (公開)	石原 瑠波 加藤 利樹 神崎 智大 木下 翔馬 高野 義裕 高木 康裕 榊 祐人 渡部 勇人 小川 大介 西村 信哉 荒川 信孝

**(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。**

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2019\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2019 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin\_padit\_cog2019@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：  
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示-非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。  
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)

5. この応募内容のうち、「3. 自治体との連携」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。）

## 2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

### (1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、課題解決のために、何をする社会的なサービス（活動）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したり、活用したくなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなワクワク感のあるアイデアを期待します。2 ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題>

多摩市の住環境の魅力を市外の人に伝えられていないこと

<解決アイデアの内容>

多摩市の街並み共有プロジェクト  
～Google ストリートビューを活用した遊歩道・公園の丸見え化～

#### 課題背景：

「(2)アイデアの理由」項で詳細に述べるが、多摩市は都内屈指の豊富な公園、日本一長い歩車分離型の遊歩道など魅力的な地域資源を有している。しかしながら地域資源のデジタル化が追い付かず、市外の人が多摩市について知りたい内容（需要）と多摩市が発信したい魅力（供給）との間に一部ミスマッチが生じていることが深刻な機会損失であると考えた。

#### 目的：

地域資源の網羅的なデジタル化（丸見え化）により、市外の人々が各自で知りたい内容を通じて多摩市の住環境の良さも伝わり、さらには公園・遊歩道を活用したまちあるきを体感してもらえるような一連のアイデアを提案する（需要と供給とのミスマッチの解消）。

#### 方法：

多摩市の持つ地域資源である遊歩道や公園の魅力を効果的に発信するため、Google が提供するサービス（Google ストリートビュー）を利用する。

#### なぜ Google ストリートビューなのか？

Google ストリートビューは数百万ものパノラマ画像を Google マップ上で再構成することで、世界中の場所を仮想的に表したものである。Google マップは国内地図アプリの利用率として 1 位であり、世界中で約 10 億人が活用するツールのため、PC・モバイルなどを通じて国内外から自由にアクセスすることも可能である<sup>1, 2)</sup>。また日本語だけでなく英語など多言語に対応していることで、より多くの人にアプローチすることが出来る。さらに Google ストリートビューでは 360 °画像を自由に閲覧できることで、発信者が一方的に情報を提供するのではなく、閲覧者の興味に基づいて能動的かつ視覚的に情報を捉えてもらうことが可能となる。

## 新規性：

Google ストリートビュー トレッカーパートナープログラムを利用して Google ストリートビュー画像の撮影を行う。これまで小豆島や大洗海岸など多数の場所で実施されているが、市内全域の遊歩道および公園を網羅した事例は私たちが把握する限り存在していない<sup>3)</sup>。さらに今回は行政主導ではなく多摩市若者会議に参加した多摩市民のアイデアを発端として、行政を巻き込む形で実現にまで至っており、新規性が高い取り組みであると考えている。

## プロジェクトの進捗：

2019 年 12 月時点ではトレッカーパートナープログラムを利用した画像公開まで達成することができた。従来および今回の代表的な画像とその特徴を以下に示した。(注：下記画像の使用は Google の許諾を取得済み)



従来の画像（**車道からの街並みのみ**）：  
地域資源（歩車分離の遊歩道など）を見られず、  
その魅力を十分に発信できていなかった



今回の画像（**遊歩道、公園を含めた街並み**）：  
市外の人が知りたい情報（有名なパン屋）と住環境の  
良さ（団地から図書館迄の安全な往来）を同時に発信

## 今後の展開：

十分な広報期間を設けた後に多摩市若者会議および多摩市役所が合同で記者会見を行う予定である(2020 年 2 月を予定)。また今回の撮影で得られた一連の画像およびノウハウを基に、今後展開したいと考えている代表的な活動を以下に示した。(全て 2020 年 3 月以降を予定)。

- 多摩市を移住先として検討する人に向けて、駅までのルートや通学路の可視化
- Google マップおよび Google ストリートビューに画像を投稿してもらおうフォトコンテストの企画、開催
- 多摩市内を通過する東京 2020 オリンピック競技（男子ロードレース）の観戦場所まで、遊歩道を活用して安全に向かうルートの提案

## 参考資料：

1. 地図アプリの利用率, 最終閲覧日 2019 年 12 月 12 日,  
<https://www.value-press.com/pressrelease/215276>
2. Google マップの月間アクティブユーザー数, 最終閲覧日 2019 年 12 月 15 日,  
<https://cloud.google.com/maps-platform/?hl=ja>
3. トレッカーパートナープログラム, 最終閲覧日 2019 年 12 月 12 日,  
<https://www.google.co.jp/intl/ja/streetview/gallery/#japan-trekker-partners-program>

## (2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの資料や関連の計画、既存の施策などの定性データのことを総称します。データは出所を明らかにしてください。

**多摩市は以下データが示すように、都内有数の住環境が良い地域である。**

- 多摩市は市民 1 人あたりの市立公園面積が 13.64 m<sup>2</sup>/ 人であり、東京都内 26 市中 1 位<sup>4)</sup>を獲得するほど緑が豊かな地域である。
- 多摩市内には日本一長い歩車分離型の遊歩道（全長約 41 km）が整備されており<sup>5)</sup>、特に子どもや高齢者の安心安全な往来に生かされている。
- 多摩市民への調査より、高い定住意向（81.8%）および生活環境（住みよさ）への満足度（85.8%）が明らかとなり、多くの市民が住みやすさを実感している<sup>6)</sup>。

**しかし、上記の魅力が周知されているとは言い難い。**

例えば、多摩市が動画共有サイト YouTube に公開している遊歩道の紹介動画は、2017 年の公開から 2 年以上が経過したにも関わらず、再生回数は約 2,800 回に留まっていた<sup>7)</sup>。またおでかけ情報サイト Yahoo!ロコでは東京都内の 1,450 公園を紹介しているが、多摩市内のロコ数 1 位は多摩中央公園の 16 件であり、市内の公園の認知度が総じて低いことが明らかとなった（都内のロコ数 1 位は上野恩賜公園の 745 件）<sup>8)</sup>。

**本当に多摩市を知りたいというニーズは存在しないのだろうか？**

市民ボランティアによる映画祭（TAMA CINEMA FORUM）や多摩市内でのロケ地誘致活動を行う市民団体（たまロケーションサービス）の積極的な活動もあり、多摩市の街並みは多くの映画・TV ドラマ・アニメ・CM・音楽 PV 等を通じて全国に提供されている<sup>9-13)</sup>。

また来年開催される東京 2020 オリンピックにおいて、アイスランド選手団の事前キャンプ地が多摩市に決定したことや、男子ロードレースコース（総距離 244 km）のうち都内最長となる 11.8 km 部分が多摩市内に設定されたことから、今後国内のみならず海外からも多摩市が検索される機会も増えると予想される<sup>14, 15)</sup>。

私たちは 2017 年より開催してきたワークショップ、フィールドワーク等<sup>16, 17)</sup>で得られた意見も集約し、多摩市を知りたいという潜在的ニーズが高まっているにも関わらず、市内の街並みが網羅的にデジタル化されていないことで、需要と供給のミスマッチによる機会損失が生じている点を課題背景として設定した。

**本アイデアを提案する理由とは：**

私たちはこの課題を解決するために、①360°画像をインターネット上で確認でき、かつ②多言語対応という特徴を有する Google ストリートビューの活用を選択した。すでに Google ストリートビュー撮影車により車道からの街並みは撮影されていたが、多摩市が有する豊富な遊歩道・公園については断片的な画像のみ閲覧可能な状態であった。そこでトレッカーパートナープログラムを利用して、多摩市内の公園や遊歩道を Google ストリートビューで撮影することとした。

**参考資料（続き）：**

4. 多摩市みどりの基本計画（改訂），  
<http://www.city.tama.lg.jp/cmsfiles/contents/0000001/1468/nishou2-2.pdf>
5. 多摩市のまちあるきマップ（遊歩道・多摩よこやまの道ガイドマップ），  
<http://www.city.tama.lg.jp/cmsfiles/contents/0000004/4066/201711mapomote.pdf>
6. 第 37 回 多摩市政世論調査報告書，  
<http://www.city.tama.lg.jp/cmsfiles/contents/0000002/2592/youyaku37.doc>
7. 多摩市ルートナビ「遊歩道」編，最終閲覧日 2019 年 12 月 11 日，  
[https://www.youtube.com/watch?v=bHAK\\_94bBvY&feature=youtu.be](https://www.youtube.com/watch?v=bHAK_94bBvY&feature=youtu.be)
8. Yahoo!ロコ，多摩市の公園一覧，最終閲覧日 2019 年 12 月 20 日，  
<https://loco.yahoo.co.jp/search/?genrecd=0305007&areacd=113370301&sort=-review&b=1>
9. 映画祭 TAMA CINEMA FORUM ホームページ，最終閲覧日 2019 年 12 月 12 日，  
<https://www.tamaeiga.org/>
10. たまロケーションサービス ホームページ，最終閲覧日 2019 年 12 月 12 日，<http://tamaloc.com/>
11. 東京都多摩市 ロケ地情報 ホームページ，最終閲覧日 2019 年 12 月 12 日，  
<http://loca.ash.jp/info/addr/kttktm.htm>
12. アニメツーリズム ホームページ，最終閲覧日 2019 年 12 月 15 日，  
<https://anime-tourism.jp/r/Tama/>
13. KANA-BOON 『フルドライブ』音楽 PV，最終閲覧日 2019 年 12 月 12 日，  
<https://www.youtube.com/watch?v=adK2Fol2SkM>
14. 多摩市ホームページ，東京 2020 オリンピック競技大会 アイスランド選手団の事前キャンプ地，  
最終閲覧日 2019 年 12 月 12 日，<http://www.city.tama.lg.jp/0000009545.html>
15. 多摩市ホームページ，東京 2020 オリンピック競技大会 自転車競技ロードレースコース，  
最終閲覧日 2019 年 12 月 12 日，<http://www.city.tama.lg.jp/0000007349.html>
16. 多摩市若者会議パンフレット，平成 29 年度提言 5 つの柱  
<http://www.city.tama.lg.jp/cmsfiles/contents/0000004/4434/pmf.pdf>
17. 多摩市ホームページ，多摩中央公園 プレイスメイキング社会実験，最終閲覧日 2019 年 12 月 16 日，  
<https://www.city.tama.lg.jp/0000007744.html>

### (3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、2 ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

#### 実現する主体

多摩市若者会議、多摩市役所

#### 実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）

資源	大まかな規模とその現実的な調達方法
ヒト	下記機材による撮影メンバー（約 10 名、多摩市若者会議の参加者） 撮影許可の申請等を担当する多摩市役所職員（6 名、企画課・秘書広報課・都市計画課）
モノ	撮影用機材一式（Google ストリートビュー トレッカーパートナープログラムを通じて無償貸与） 市内の遊歩道・公園地図（Google マップおよび多摩市配布のガイドマップを利用）
カネ	トレッカーのバッテリー充電費、市内撮影ポイントまでの交通費、駐車場代 （総額 ¥ 10,000 以内、撮影メンバーで分担）

#### 実現にいたる時間軸を含むプロセス

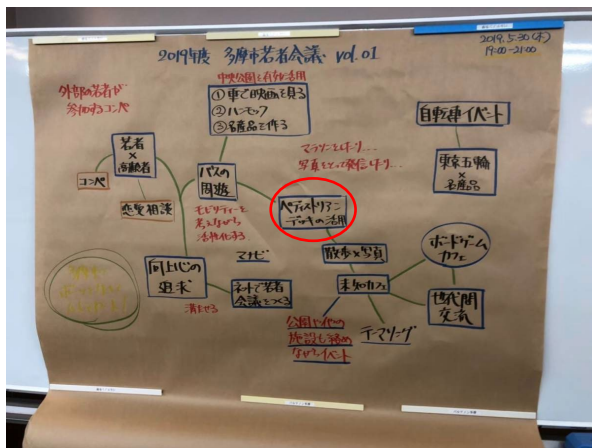
年月	プロセス
<b>2019 年</b>	
5 月	多摩市若者会議にて Google ストリートビューの撮影アイデアが出る。
6 月	発起人数名で実現可能性を検討。 多摩市役所 企画課と連携し、Google ストリートビューのトレッカーパートナープログラムを利用する方針を決定。
7-8 月	撮影場所・スケジュールの決定 撮影メンバーの募集（多摩市若者会議内）※ 撮影許可の申請
9-10 月	公園・遊歩道の撮影 撮影画像を Google に提出
11-12 月	Google による画像公開に向けた準備
12 月 12 日～	撮影画像が順次公開
<b>2020 年（予定）</b>	
2 月	本プロジェクトの記者会見を多摩市若者会議、多摩市役所合同で行う。※
3 月～	Google ストリートビューの画像を地域プロモーション・観光に活用する。※

※Google ストリートビューのトレッカーパートナープログラムでは、利用規約により画像公開前のアナウンスが許可されていない為、利用規約に沿った撮影・プロモーションを行う。

## アイデア実現までの大まかな流れ

### ① 多摩市民より発案された Google ストリートビューのアイデア

多摩市若者会議ではワークショップ参加者から得られた公園活用の意見<sup>16)</sup>を踏まえて、多摩市主催の公園活用イベント等<sup>17)</sup>に参加していたが、市外の方に住環境の良さを周知させるには至っていなかった。しかし、2019 年の第 1 回多摩市若者会議（5 月 30 日開催）で Google ストリートビューの活用アイデアが多摩市民より発案され、プロジェクトとして発足することとなった。その後、多摩市若者会議と多摩市役所職員が密に連携することで、約 6 ヶ月と短期間でアイデアを実現させることが出来た。



Google ストリートビューのアイデア（赤枠）が発案された際の多摩市若者会議ワークショップ  
※歩車分離型の遊歩道をペDESTリアンデッキと記載

Google ストリートビュー撮影機材「トレッカー」で市内の公園を撮影するメンバー

### ② Google ストリートビューの撮影方法の比較（実現可能性の検討）

方法	トレッカープログラム	自主撮影
撮影用機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バックパック型カメラ（トレッカー）を Google より<b>無償貸与</b>可能</li> <li>・大容量バッテリーにより<b>連続撮影可能</b>（約 3~4 時間）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>購入が必要</b>（価格：約 3~12 万円）</li> <li>・上級機種でも<b>連続撮影が難しい</b>（約 1 時間）</li> </ul>
画像の著作権	<b>Google</b>	<b>撮影者</b>
画像のぼかし処理	撮影画像の提出後は、 <b>Google が</b>	<b>撮影者による画像 1 枚ずつのぼかし処理、</b>
・アップロード	<b>ぼかし処理・アップロードを対応</b>	<b>アップロードが必要</b>

⇒ 限られた撮影メンバーで市内全域の遊歩道・公園を効率的に撮影するには、トレッカープログラムの利用が必須と判断した。



